

第18号

田尻

発行日 2022年8月31日
 発行 田尻学区コミュニティ推進会
 田尻地区社会福祉協議会
 発行責任者 大森健一
 編集部 広報部
 事務局 田尻交流センター
 電話・FAX (42)1552

「ゼロカーボンシティひたち」の取り組み

◆ゴミゼロや雑草ゼロに繋がる活動

自分の地域は自分たちの手できれいに！

6月12日、今年も田尻学区一斉清掃が行われた。作業の途中から小雨が降り出す悪天候ではあったが、早朝より各支部、各町内会で草刈り、土砂あげを行い、刈り取った草を指定の集積所に山積みにしていった。

多数の方々の参加を得て、怪我やトラブルも無く、無事清掃を終えて、地域はきれいに住み良くなった。



上田尻上の代AP支部



上相田なかしま地区

◆グリーンカーテンの設置

今年も、交流センター西側（ホール側）にゴーヤのカーテンを作り、身近にできるヒートアイランド対策をしています。また、収穫したゴーヤは「ゴーヤ料理教室」で使用する予定です。

グリーンカーテンを作るなら、病気に強く、収穫も楽しめるゴーヤがおすすめです。

◆川清掃など自然環境を守る活動

10月2日（日）に田尻川河川清掃を実施する予定。詳細は、9月20日号の市報に折り込むお知らせを見てください。地域の皆さんのご協力をお願いします。

今年も敬老会は中止

敬老高齢者元気応援事業は実施

令和4年度の敬老会は、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響で、中止になった。代替事業として、高齢者に元気・活力を取り戻してもらうため、生活応援品、マスク、暮らしに役立つパンフレット等が対象者に贈られる予定です。

今後の主な予定

- 9月18日（日）田尻学区敬老会（中止）
- 10月2日（日）田尻川河川清掃
- 10月16日（日）レクと健康の集い
- 10月22日（土）田尻学区文化祭
- 11月6日（日）自主防災訓練
- 11月13日（日）ふるさと再発見ウォーク
- 11月20日（日）三世代交流会
- 11月30日（水）広報紙「田尻」発行



田尻川河川清掃
(令和3年10月24日)



交流センター前のゴーヤのカーテン

健康づくり推進部

8月4日、池の川アリーナ陸上競技場で6時30分からの生中継で行われた「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」に健康づくり推進委員8名が参加した。当日放映されたNHK「いば6」に、推進委員のメンバーがバッチリ写っていたのにはビックリと感動で、一生の思い出となった。



体操会に参加したメンバー

部会だより

NHK「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」に参加

後半の学校心理士・ガイダンスカウンセラー大島澄江さんによる「ゼロカーボンひたちの取り組み」の講演では、日々の生活の中で一人ひとりが地球温暖化防止を意識し、環境にやさしい無駄のない生活が大切と話された。



テーマについて講演する大島澄江さん

青少年健全育成部

青少年健全育成連絡協議会 ゼロカーボンひたちの取り組み

7月16日、青少年連絡協議会が交流センターで開催。前半は、日高交番及び田尻消防所より地域の防犯防災状況、並びに先生方より園児や児童、生徒の様子などが報告された。特に中学3年生の生徒、先生が3年ぶりに実施された修学旅行を喜んでいたとのこと。

その後、3グループに分かれて今後の取組について発表し、有意義な協議会になった。

その後、3グループに分かれて今後の取組について発表し、有意義な協議会になった。

本部役員研修会

渋沢栄一記念館視察

6月4日、埼玉・群馬方面への学区コミ推・地区社協役員研修会を行った。近代日本資本主義の父と言われる渋沢栄一の記念館では、アンドロイドによる渋沢の講演を聞くとともに彼の功績について学んだ。



渋沢栄一記念館前で

でき充実した一日を終えることができた。

新型コロナ詐欺に注意

「注意するのは感染予防だけじゃない」
声をかけ合い高齢者を守ろう

新型コロナ禍に便乗した詐欺事件が発生している。被害の多くはお年寄りなので声をかけあい被害を防ぎたい。

国民生活センターによると給付金詐欺やコロナ禍による詐欺事件が多発している。自治体職員を名乗り給付金の早期給付やデータ処理名目でお金を要求するケースが多い。「PCR検査やワクチン接種が優先的に受けられる」と誘い予約金をだまし取る手口もある。「貴金属・着物を買う」「有利な投資」など、それらを真に受け一人で決めないで身内や警察に相談すること。また留守電にして「この電話は録音されています」のメッセージを入れておくことで予防になる。

(藤田)

田尻消防所だより

救急車の適正利用について



命が
あります
助かる



尊い命を救うために
救急車の適正利用に
ご協力ください

近年、高齢化社会の進展及び新型コロナウイルス感染症拡大により、救急車の出場件数は増加傾向にあります。しかし、救急車の台数には限りがあり、出場件数が増えれば、最寄りの救急車が出場出来ず到着が遅れ、救える命が救えない可能性があります。そのためにも、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

日高交番だより

交通事故を防ぐポイント



日立警察署
日高交番
☎ (42) 0110
☎ (22) 0110

横断歩道を利用しましょう ～横断には『合図』を！～

- 道路を横断する時は、手をあげる等して、横断する意思を明確に伝えましょう。
- 停止したドライバーには、会釈等で感謝の意思を示しましょう。



福祉事業部

さんあいコーナー

教養大学 (高齢者教養講座)

防犯状況と介護保険の利用について

年々増えている高齢者の交通事故や、二七電話詐欺などにあわないたため及び介護保険利用の手続きについての講座が、6月13日、交流センターで開かれた。

前半は日高交番所長から交通事故や詐欺事件、盗犯などの近況を聞いた。後半はサン豊浦の社会福祉士から介護保険申請に関わる「かかりつけ医」について詳しい話があった。受講者は真剣に耳を傾け、ケアマネージャーを依頼する場合などの質問をした。



講師の日高交番 石田所長

「田尻に伝わる民話を聞く」

田尻小3年生の総合学習

6月9日、田尻小学校第3学年の総合的な学習の時間に、田尻学区民話の会から4名の講師の方をお招きして「田尻の民話を聞く会」が開催されました。田尻学区に古くから伝わる6つの民話を紙芝居などを通して聞いた子ども達は、それぞれの民話について興味をもって、真剣に話しを聞く様子が見られました。また、児童の感想には、「王子の湯の話の中で起こった不思議な出来事に、実際に行ってみ



紙芝居で民話を聞く

ひたちオレンジカフェ

7月20日、交流センターにて田尻ヶ丘病院から理学療法士・作業療法士及びサン豊浦のスタッフが講師に招き、ひたちオレンジカフェが開催された。

要介護の予備軍状態とされる「フレイル」の予防として自主トレーニングを実施し、さらに、漢字クイズで脳の活性化を図った。

参加者からは、転ばないための運動や漢字クイズを楽しむことが出来て良かったとの感想が多数あった。



姿勢を良くする筋トレを実践

巡回安全サービス事業

7月6日、あんしん・安全ネットワーク事業の一環として、社会福祉協議会、電力事業者、ガス事業者などの協力を得て、ひとり暮らし高齢者宅を訪問して、安全点検を実施、寝室には火災報知器を設置した。トンカチの会の方には、網戸の張り替えなどもやっていただいた。

きめ細やかな点検に、利用者からは感謝の声が寄せられた。



一人暮らし宅の火災報知器の設置

「たじり」短信

「きゅうり」と「きゅうり」

私は最近、兄よりの「きゅうり」と「きゅうり」はどちらが正しいか、という手紙をもらった。分らなかつたので、早速調べてみた▼きゅうりは漢字では胡瓜と書くが、語源は「き(黄)うり(瓜)」あるいは「き(木)うり(瓜)」だと分った。だとすると「きゅうり」が本来の言い方と考えられる。実際、平安時代中期の漢和辞典には「キウリ」の読みが見られ、また、時代が下がってギリシタン宣教師が日本語取得のために編纂した辞書にも「キウリ」と書かれているとのこと。このことから、近世に入っても「キウリ」ではなく「キ・ウ・リ」と発音されていたと思われる▼「きゅうり」と発音が定着したのは第二次世界大戦直後に発行された国定教科書からで、ここで標準語音を「きゅうり」という表記に統一された。因みに新聞などでは「キュウリ」と書くことが多いが、これは動植物名は片仮名書きを原則としているからだ▼茨城県の有名人である水戸光圀公は、このきゅうりが嫌いだったらしい。その言行録である「桃源遺事」の中で、毒が多くて効能は少ないから植えてもいけないし、食べてもいけないと言っている。さすがの黄門様も現代のようになかったようだ。今、私達に印籠をかざして何と言うのだろうか……。(武石)

交流センター大掃除と避難訓練

8月6日、交流センター大掃除が利用団体、高連、コミ推・地区社協の参加のもと、室内の清掃や外回りの除草などを行い、とてもきれいにいった。今後、来館の方が気持ちよく利用できることが期待される。

その後、参加者全員で避難訓練と消火訓練を行い、防災意識を高めた。



外回りの清掃

田尻交流センターだより

マイナンバーカード申請サポート実施中



らくらく マイナンバーカード 申請サポート実施中

写真撮影から申請までの一連の手続きを、職員がサポートしています。運転免許証など顔写真付きの本人確認書類、または「マイナンバーカード交付申請書」をお持ちの上、お気軽にご利用ください。

受付時間
 ■平日：午前8時30分～午後5時15分
 ■土・日曜日：午前9時～正午、午後1時～5時
 (第3土曜日に続く日曜日を除く)

受付場所
 市民課及び各支所
 (土・日曜日は、市民課、多賀・南部・十王支所のみ)

カードのお受け取りは、申請から約1か月半後になります。

～ 最短5分で簡単申請 ～

申請書記入

お客様の住所・氏名等を所定の用紙にご記入いただきます。

本人確認

本人確認書類(運転免許証等)を職員へ提示してください。

顔写真撮影

職員がタブレット端末でお客様の顔写真を撮影します。

手続終了

インターネットで申請をして、手続終了です。
※職員がサポートしますので、ご安心ください。

明治六年、日立地方の各村に小学校が開設されると、訓導(先生)に任じられて、発蒙舎



秋葉神社境内「発蒙舎」の碑

『はつもうしや』
発蒙舎の安達先生
 明治六年(一八七〇)七月、小津村と田尻村が経費を折半し、両村の境に位置する台地の民家を借用して、両村合同の学校「発蒙舎」を創立しました。

先生は拡充師範学校卒の安達勝功一人でした。

安達先生は元助川海防城主山野辺義芸の家臣で、幕末に起きた助川海防城の戦いでは城に立てこもり戦いました。また、明治三年に水戸藩で起きた弘道館の戦いでは改革派義芸に比べ戦いました。当戦いは、弘道館を占拠した水戸藩の書生派と改革派の戦いでした。

平成二十四年(二〇二二)、発蒙舎創立および安達先生が教鞭をとり始めてから一四〇年になりました。この歳月を記念して、二年後、記念碑が造られ、五月九日除幕式が行われました。

支部トピックス

上田尻支部 田尻のお不動様

コロナ流行拡大の中での夜祭り、迷ったが不動明王の神通力を信じ？実施。「火の用心、交通安全、町内安穩、不老長寿、疫病消滅退散」、すべての難を除けますようにと、90個の灯籠を灯し、参加者全員で手を合わせ祈願祭が無事終了。



コロナ退散祈願祭

編集後記

新型コロナウイルス感染症「第7波」急拡大の中、予定されていた行事が中止や延期になるなど、諸々の影響はありましたが、「田尻」第18号を、無事、発行することが出来ました。皆さんのご協力に感謝いたします。



馬坂城跡を歩く

ふるさと歩こう会

6月5日、梅雨の雨を心配したが、薄曇りのハイク日和となり一安心。

常陸太田市佐竹寺の十一面観世音菩薩に今日の安全を祈願し馬坂城跡の広大な城址公園は、まちかど案内人の説明で廻る。終えて、昼食。美肌の湯に疲れをいやし、宝来館をあとにした。